

輸出に取組む

優良事業者表彰

瀬崎林業 近畿農政局長賞

「近畿農政局輸出に取組む優良事業者表彰」において瀬崎林業(大阪中央区、社長・遠野嘉之氏)が令和6年度「近

畿農政局長賞」を受賞、3月6日、表彰式が挙行された。受賞に際し遠野社長は「日本は人口や住宅着工が減少する中、戦後に植林したスギやヒノキが伐採適齢期を迎え、世界的な木材需要の高まりと相まって輸出の機運が醸成されてきた。木は植えて、待つて、使ってまた植える。持続性が大切です。山を健全に保

つことを第一義に据え、林産業の継続に向けてこれからも輸出に取組んでいきたい」とコメントした。

同社は2010年、同業他社に先駆けて原木(丸太)の輸出を開始した。主な輸出先は中国・台湾・韓国。マー

輸出実績(平成22年から輸出開始)

年	輸出額
令和3年	32億5716万円
令和4年	26億8333万円
令和5年	28億3231万円

の少ない大径木を輸出している。同社は物価の高い国をターゲットに2×4部材などの安定供給を次の目標に掲げている。一写



真(左から) 相本浩志近畿農政局長・遠野社長・平松大阪営業所長